

Afternoon Meeting vol.3

「子育ては楽しいけど大変」

日時：平成25年6月11日(火) 12:10～12:55

テーマ：Afternoon Meeting vol.3 「子育ては楽しいけど大変」

ゲスト：教育学部 前盛 ひとみ 准教授

参加者：9名(教員5名、職員4名 女性：7名、男性：2名)



3回目を迎えたAfternoon Meeting。今回は子育て中の教職員を対象に開催しました。お子さんの性別も年齢も様々な7名と、これからの2名で子育てについて話しながらランチを楽しみました。まだ小さいお子さんをお持ちの方は「寝かしつけるのが大変」「子どもの起きている時間に帰れない」など悩みを持ち、小学生のお子さんをお持ちの方は「小さい頃は可愛かった」と過去を振り返り、もっと大きなお子さんをお持ちの方は「いくつになっても子どもへの悩みは尽きない」と、お子さんの年齢には関係なく、親の役割を果たしていくことは、それぞれ悩みが伴うようです。

しかし、悩みだけではなく「できなかったことができた」「一緒に遊べるようになった」「子どもが居てくれるだけでありがたい」と子育てで得られる喜びも大きいです。毎日が苦労と喜びの連続ですが、それをやり過ごしながら、毎日仕事と家事を両立させている多くの女性達の大変さに頭が下がる思いです。

また、残業の多い男性からは、遅いので帰ったらお子さんは寝ているが、休日には公園に行ったりして遊んでいる。仕事を途中抜けして、親業に携われたらと考えたこともあると本音が出ました。こういう気持ちを持っていてくれるだけでも、妻は大変さを理解してもらっているとほっとするものです。

前盛先生の「元気に生まれてくる赤ちゃんは、かなりミラクルなこと」、先生がいつも支援をしている「NICUに入っている小さな赤ちゃんのお母さんも、赤ちゃんが少しずつ大きくなっていくにつれて、困難を乗り越え、少しずつ母親になっていく」という言葉が印象的でした。子どもが生まれた瞬間に親になるのではなく、子どもの成長と共に親になる。子育てにゴールはありません。慌ただしく子育てに取り組む教職員の皆様のご苦労も、きっと「親育ち」のプラスとなっていることと思います。今回は子育て中という共通点での立場を超えた情報交換でしたが、大変貴重な場になりました。教員も、職員も、仕事を持つ親として悩みも喜びも同じ。みんなが主役になれる楽しい会になりました。



「子育てエネルギー欠乏説と増大説」

【前盛先生のお話から】仕事と子育ての両立では、実際は多重役割になり負担が増えますが、疲労により幸福感が下がるというエネルギー欠乏説と、生活の満足度が上がり、幸福感が増すという増大説の二つの説があるそうです。さて、あなたはどちらでしょう。

～ Smile Lunch Day やってます～

毎週火曜日は非常勤職員、水曜日は女性教職員、木曜日は男性教職員のために、男女共同参画推進室を開放しています。お弁当を持ってお気軽に、どうぞお訪ねください。

